
私の5年

ハゲ眼鏡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の5年

【Nコード】

N5796S

【作者名】

ハゲ眼鏡

【あらすじ】

まずはバイトを探すところから。

〜1人前〜アルバイト探し

17歳の11月、俺はバイトを探していた。生まれて初めてのバイトはコンビニと決めていた。理由はない。ただバイトの基本だと思っていた。面接から二日後連絡があり、見事不採用。また求人広告を引っ張り出し、目に付いたバイト。中華料理屋。高校から近く通いやすそうだったので電話。次の日の夕方面接をしてもらえることになった。

翌日。

「いらつしゃいませ！」

一人の女性店員が俺に声をかけてきた。

「あ……」

よく見ると同じ中学の同級生だった。顔は見たことあるが、喋ったことはない。

「今日面接に来たんですが……」

「店長！」

同級生店員がレジにいた力士のような体型の人に声をかけた。

「面接の方が来ています」

力士店長が振り返り俺を見た。

「おはよう！」

体は力士、顔は藤原組長。声は明るいが怖すぎ……。裏に回ってくれるか！」

4畳ほどの狭い事務所で面接。

何を話したかいまいち覚えていない。他愛もない話だ。

10分ほど話して組長が

「じゃあいつ出勤する？」

「え？」

「バイトしたいんやろ？いつ働けるんや？」

「いつでも大丈夫です。採用ですか？」

「じゃあ明日、今日と同じ時間に来いよ！ほなお疲れ！」

「え？あ、はい。お疲れ様でした。」

何かしつくりしないまま家に帰る。

とりあえずオカんに報告。

「やったやん！」・・・温かい家庭でよかった。

「あの子、可愛かったな・・・。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5796s/>

私の5年

2011年10月9日00時29分発行